

平成 28 年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の

点検・評価報告書



平成 29 年 3 月

出雲崎町教育委員会

目 次

	頁
はじめに	1
I 総合教育会議	3
II 教育委員会の会議及び活動状況	4
III 学校教育	7
1. 出雲崎小学校グランドデザイン	7
2. 出雲崎中学校グランドデザイン	11
3. 出雲崎町キャリア教育の取組み	15
4. 学校支援地域本部事業	23
5. 中学校 PTA 広報	27
IV 社会教育事業の実施状況	32
1. 社会教育・公民館事業	32
2. 図書館事業	38
3. 社会体育事業	40
V 学校・社会教育施設の整備充実	44
VI 学識経験者からの総合評価	45
VII その他	46

はじめに

1 点検評価の背景

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定により、平成 20 年度から教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況等について、学識経験者を活用して、毎年教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することが義務づけられた。

本報告書は、これに基づき効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、平成 28 年度の出雲崎町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行った結果を報告するものである。

2 学識経験者の知見の活用

平成 28 年度の点検・評価に当たっては、学識経験を有するものとして、前年度と同様に、元長岡市立北中学校長の山崎十五郎氏（柏崎市・旧西山町在住）から、第 5 次出雲崎町総合計画における教育関係の基本構想及び基本計画をふまえて、本年度事業及び次年度に向けて助言・指導を得た。

3 報告書の内容から見られる主だった評価

- (1)「教育委員の活動状況」については、保護者や地域住民に対して、機会あるごとに情報の発信を行い、教育委員会活動の周知に努めている。

教育委員としての見識を深め、教育行政に反映させるべく、定例の教育委員会会議の終了後に、教育に関する直近の話題や諸問題について、講義と意見交換を合わせた勉強会として「**教育委員研修**」を実施している。

- (2)「学校教育」については、学習面では 4 月に学力テスト（小 6・中 3）が実施され、中学校は県平均を大きく上回っている。小学校では知識面では良好なものの応用問題解決の力不足の結果となった。全体に言えることは出雲崎町の子供たちの家庭学習時間が県平均・全国平均と比較して、少ないことが明らかとなっている。家庭では宿題はしているが、学校の授業の予習・復習までは到っていないことが学力テストからうかがえる。学校と家庭、教育委員会が連携を取りながら、家庭学習の充実・定着を図っている。

学習指導、生徒指導の教育活動の充実を図るため、教員補助を配置することや中学校では外国語を通じて表現力、コミュニケーション力を身に付けさせるため英語指導員を配置している。

また、授業環境では今理科離れと言われ、理科や数学に対する子供たちの興味、関心が薄れ、学力低下との指摘があることから、小学校 4 年生から 6 年生の理科には平成 25 年度から引き続き、「**理科支援員を配置**」し、教員をサポートする体制の継続を図るとともに、中学校入学後における理科教育に対する意欲、関心等の充実及び学力向上に結び付くよう努力をしている。

更に、平成 26 年度からは中学校に「**情報教育支援員**」を配置し、授業におけるデータ作成や整理、電子黒板を使った授業を行うなど、先生の負担軽減や生徒が授業に注目し易い環境を整え、多角的に教員のサポート体制の充実を図っている。

- (3)「社会教育」については、一人ひとりが主体的かつ積極的に社会教育事業に

参加推進できるように環境整備を行ってきた。

特に「出雲崎総合大学」事業は、18年間継続している事業であるとともに、多彩な事業メニューを組み、年々参加者が増加しており、中核となる事業として事業展開がなされてきている。

小学校児童の放課後や長期休業での居場所づくりとして、今後の放課後子ども教室への移行を見据えた中で、「出雲崎ッズ」事業の拡充・充実を図って多彩なメニューで事業がなされている。「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」を一体的に開催する「放課後子ども総合プラン」を、平成29年度から実施できるように準備を進めている。

学校、家庭、地域の連携促進事業により、子ども達が校外活動などで町内の自然や環境、農業体験などに取り組んだ。大勢のボランティアにより小中学校のグラウンド除草や小学校の裏山「ほなみが丘」整備に活躍頂いた。

4 今後の点検・評価にかかる重点事項について

次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、取組んで参りたい。

- (1) 児童・生徒が一人の大人として成長していくためには、学校における教育だけでなく、地域や地域の人たちとの関わりが重要となってくる。

「出雲崎町教育計画」では、このような学校環境を考えたとき、小学校入学から中学校卒業までの9年間で小中連携した教育を行うことにより効果的な指導ができる。義務教育のまとめとなる中学校卒業時の“具体的な子ども像”を描き、そのことを実現するために各発達段階をふまえて、生活面（規範意識、社会性、ものの見方や考え方 等）と学習面（知識理解、活用力 等）を中心に、指導の方策・内容に共通性を持たせることが必要となる。実際の指導では、目標を連鎖させて「学校評価」「教員評価」を活用し、小中学校教職員が同一歩調で児童生徒の指導に当たるよう取組んでいく。

- (2) 学習面では小中学校の9年間で発達段階に応じた指導を進めているが、学力テスト結果からさらに家庭学習の充実、定着を図り学力向上に努めたい。

総合学習等では、良寛学習を継続して行い、児童生徒一人ひとりが学習資料をファイル化し、学習成果の継続性を図っていき、その成果を称え中学校卒業時に「良寛学習修了証書 慈愛」を交付するなどで、「ふるさと出雲崎・郷土の誇りである良寛の心」を持ち続ける学社連携事業を着実に進めたい。

- (3) 町民が心豊かな人生をおくるため、「家庭・地域の教育力の向上」「家庭・地域・学校・行政が一体となった生涯学習の推進」「歴史・文化・芸術の振興」の3つを施策の柱として進めていく。

また、今年度は、平成9年度以来とだえていた「生涯学習推進計画」の見直しを実施され、住民アンケート調査を反映した計画策定がなされた。今後はこの計画の基本目標である「学びの楽しさ、心の豊かさで、生きがいのもてるまちづくり」を目指して各種事業を実施していく。

- (4) 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援教育の充実を図るため、介助員の配置や特別支援学級の増設により特性に応じた指導、支援を行い、基本的な生活習慣の定着、コミュニケーションや社会性の向上を支援していく。

また0歳児から18歳までの子供の教育、福祉、医療をつなぐ拠点として、

子育ての不安や悩みを相談できる「子育て支援センター」の建設に向けて、関係機関と協力しながら H30 年度オープンを目指して準備を進めている。

- (5) 全国優良公民館に当公民館が選ばれ、義家文部科学副大臣から表彰状が伝達された。この賞は特に事業内容・方法に工夫をこらし、地域住民の学習活動に貢献しているものを表彰し、今回の受賞は「小・中学校の良寛学習や成人対象の良寛講座の開催など伝統文化が地域の宝として継承されるような事業に取り組んでいる」ことが評価された。



I 総合教育会議

- (1) 新教育委員会制度により、首長が招集する「総合教育会議」の開催が義務付けられた。首長は予算の編成・執行から条例案の提出など教育に関しても大きな権限を有しており、また教育長は首長の議会提案により任命することになった。教育長は教育行政の責任者として事務局の指揮監督を行い、さらにいじめによる自殺事案等の緊急に講ずべき措置については、首長が責任者となり講ずべき措置を行うことも可能となる。ただし、委員会の多数決による意思決定の仕組みは変わらない。
- (2) 町長の招集により、創設された総合教育会議を平成28年6月6日開催し、町長と出雲崎町の教育について意見交換を行い、今後の教育の総合的な施策の基本となる「大綱」の確認をした。

出席者	出雲崎町長	小林 則幸
	教 育 長	佐藤 亨
	教育委員	村越 隆夫・木川 勇三・棚橋 正吾・内山 才子
	教育課長	矢島 則幸
	教育課参事	金泉 嘉昭
	教育課課長補佐	権 頭 昇
	管理指導主事	高畑 秀紀

話し合い事項

1 出雲崎町の教育構想について（教育長）

第5次出雲崎町総合計画における教育関係の基本構想及び基本計画である「夢・感性あふれる教育と歴史文化香るまちづくり」の推進に向けての取組みについて理解を求めた。

2 児童・生徒の様子について（管理指導主事）

小・中学校の児童生徒の様子、教職員の様子を把握し、校長のリーダーシップのもとでの教育活動の理解を求めた。また特別支援を必要とする児童生徒の指導や今年度の主な研究会の開催日程や出雲崎町教育計画の実践・評価をお願いした。

3 学校給食について（教育課長）

小・中学校の現段階での自校給食の課題について、今後の給食の在り方を検討することとした。

Ⅱ 教育委員会の会議及び委員の活動状況

(1) 定例会および臨時会の開催（定例会 5 回、臨時会 1 回）		
会議	日付	審議事項等
4 月定例会	4/26	社会教育委員、学校評議員、公民館運営審議会委員、 教育行政点検評価員、スポーツ推進委員の委嘱 図書館協議会委員、スポーツ推進審議会委員の任命 （議案 7 件）
6 月定例会	6/6	奨学金貸与基金の設置・管理の及び運営に関する条 例の一部改正 町立図書館設置条例施行規則の一部改正 補正予算 （議案 3 件）
9 月定例会	9/9	補正予算 （議案 1 件）
12 月定例会	12/5	補正予算、町立学校管理運営に関する規則の見直し （議案 1 件）
3 月定例会	3/7	体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の 一部改正 小・中学校管理運営規則の一部改正 奨学金返還支援事業助成金交付要綱の制定 高校生通学費助成金交付要綱の一部完成 教員宿舍管理規則の一部改正 H29 年度主要事業、補正予算、当初予算、教育委 員会表彰 （議案 8 件）
3 月臨時会	3/22	教職員及び教育委員会の人事異動、生涯学習推進計 画の制定 （議案 2 件）
(2) 教育委員研修		
・新潟県市町村教育委員連合会総会・研修会 〈加茂市〉（7 月 15 日／金）		
・庁内研修 5 回 「4/26・6/6・9/9・12/5・3/7」		
(3) その他の参加活動状況		
・転入教職員面識会（4 月 1 日／金）		
・小・中学校入学式（4 月 7 日／木）		

・町教育研究会研修会、総会（5月10日／火）
・文化芸術鑑賞会（6月9日／木）東京演劇集団・風「ヘレン・ケラー」
・出雲崎小学校運動会（5月21日／土）
・町成人式（8月16日／火）
・出雲崎中学校体育祭（9月10日／土）
・出雲崎小学校音楽発表会・絵画展（10月22日／土）
・出雲崎中学校学習発表会（10月22日／土）
・夢創造ナビゲーションサミット（10月26日／水）
・生涯学習フェスティバル（11月2日／水・3日／木）
・未来の夢こども体験講演会（10月27日／木） 講師 沼津港深海水族館館長『石垣幸二』氏 『深海生物を世界のアイドルに』
・学校施設営繕視察検討会（12月5日／月）
・深めよう絆県民の集い（11月5日／土）
・出雲崎小学校ハッピーハート集会（11月18日／金）
・出雲崎中学校いじめ見逃しゼロスクール集会（12月5日／月）
・町教育委員会表彰伝達式（3月7日／火）
・中学校卒業式（3月3日／金）
・小学校卒業式（3月24日／金）

➤概要

平成28年度の教育委員会会議は、定例会を5回、臨時会を1回開催し、22件の議案を審議した。総合教育会議は児童・生徒等の生命・身体等の緊急の講ずべき課題はないために1回の開催となった。

また、教育委員の活動状況は、年間を通して学校行事や研修会、社会教育行事等に積極的に参加していただくなど、自らが教育委員としての資質の向上や、児童生徒の活動状況を把握でき、幅広い教育分野の中で活動いただいた。

➤成果と課題

- （1）町長と教育委員による**総合教育会議**の開催より、新教育委員会制度の再確認や特別支援教育の充実、キャリア教育の推進、学校支援体制の強化を図るなど、両者の教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを確認できた。
- （2）**教育委員会**を開催する際は、定例的に教育委員研修を実施することで、教育や子育て支援に関する新制度や児童生徒の現状を速やかに報告するなど教育委

員と事務局の情報共有を進め審議の活性化に努めた。

- (3) **総合学習**では良寛学習を継続して行い、小中の 9 年間を通じての地域の文化や職場体験活動を通じて自分の将来を考える機会となり、10 月 26 日には県庁自治会館でその発表が行われ小 6 と中 2 の児童生徒全員が参加し大勢の中で堂々と発表する姿は子供たちに貴重な経験となり、町長と語り合う場面では、自分の考えや他人の考えを聞いて自分の生き方を深める大切さを学んだ。
- (4) **小・中学校の休業日（夏休み）**について、現在の国の学習指導要領で定める授業時数の確保が困難になってきていることから、現行の休業日の改正を行い、学校長の裁量で柔軟に対応できるようになった。
- (6) いじめ問題では、小学校でいたずらによる言動が見られましたが、即対応したことで大きな問題にはならなかった。今後も「**出雲崎町いじめ防止基本方針**」による取組や学校と PTA、保護者などと連携しながら、「いじめを生まない、いじめを絶対見逃さない」意識を醸成していく。
なお、いじめの認知件数は減少傾向にあり各校のいじめ防止の取り組みは着実に成果を上げている。
- (7) **道徳の授業化**に向けて、中学校では「新潟県中学校研究会」の指定を受け、来年度授業を公開する予定であり、今年度はその授業内容の検討で外部講師を招き研修会やプレ発表を行った。
- (8) **自然体験**として今年度から小 4～小 6 までを対象にスキー教室を行った。新潟にいながらスキー体験の機会が少ないことから学校生活では体験できない自然環境での体験から心身、技能を高める目的で今後も続けていく。
- (9) **教育支援相談**は教育課と保健福祉課で連携して対応している。職員（保健師）による聞き取りや助言を行い、ケースによっては専門員による巡回指導やスクールカウンセラー事業での臨床心理士による相談により、児童生徒の保護者への支援を行っている。
- (10) 今年度から高校生の通学に係る経済的負担の軽減を図るため、**通学定期券購入費用の一部を助成**することとし、通学が困難で寮生活されている生徒も対象にしている。また、来年度からは若者の定住促進を図るため、奨学金の貸与を受け大学・専門学校等に就学した学生が卒業後に当町に定住し就職された場合に返還する奨学金の一部を助成する制度を創設する。



総合学習（地域の匠に学ぶ）

Ⅲ 学 校 教 育

1. 出雲崎小学校

知育

主体的な学び

○「確かな学力」向上のために

重点的な取組

- * 朝読書，朝学習の充実と基礎学力の向上
- * 授業のUD化と個人の困り感に対応した指導
- * 学年×10分以上の家庭学習指導の徹底
- * 児童の「問い」を大切にした授業改善の推進
- * スピーチ朝会等の発表の場の充実



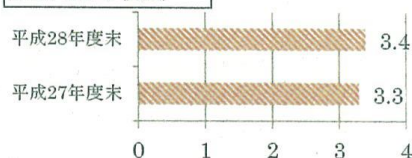
研究授業における話し合い活動



外国語活動

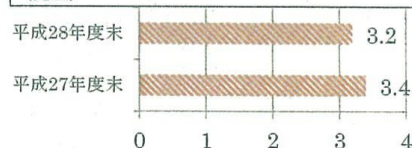
・「授業がわかる」と肯定的に考えている子供は、昨年度よりも増えています。今後もユニバーサルデザインを意識した分かる授業づくりに取り組んでいきます。

授業がわかる(児童)



・家庭学習の習慣化している児童の割合は昨年度より下がっています。担任からの声かけや家庭学習カード等を工夫しながら見取りをしっかりと行い家庭学習の習慣化を図っていきます。

学年×10分以上の家庭学習を忘れずにできた(児童)



・「良寛学習や外国語の学習をすることで力がついてきた」の評価項目は、今年度新たに設定した評価項目です。外国語活動や良寛学習，俳句活動等意欲的に活動している児童が多くなります。

良寛学習や外国語の学習をすることで力がついてきた(児童)



次年度に向けて

- ★今年度の取組を継続しながら、「わかる・できる」と感じる授業を工夫していきます。また、「学習のきまり」を検討し，全校体制で取り組めるようにします。
- ★家庭学習が定着するように，ハッピーライフウィークとも関連付けながら継続して働きかけていきます。

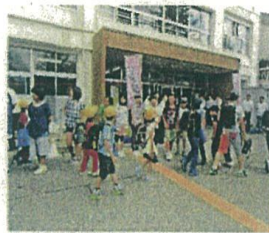
徳育

豊かな心

○豊かな心の育成のために

重点的な取組

- *「心耕」を大切に活動と指導
- *基本的生活習慣の定着と向上
- *命を大切にする心」を育てる道德教育の充実
- *特別支援教育や特別活動、異学年交流等を通した思いやりと助け合いの心の育成
- *児童同士、児童と地域の触れ合いの場の設定



あいさつ運動



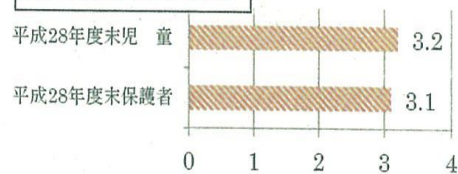
ハッピーハート集会

・「あいさつ強調旬間」に取り組んでいる期間のあいさつは良いのですが、その期間が終わるとよくないという声を聞きます。よい挨拶ができるように具体的な場面を基にして指導していきます。

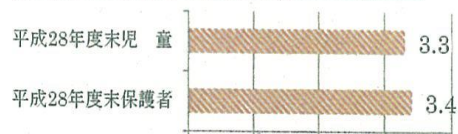
・児童、保護者とも2学期末評価の数値は高く、多くの児童が楽しい学校生活を送っていることがわかります。

・日頃の道德の授業や日常生活の中で友達を思いやりたり友達の良さを見付け伝え合ったりする活動を行っています。今後も具体的な場面想定をしてどのように対応していけばよいのかを考えさせていきます。

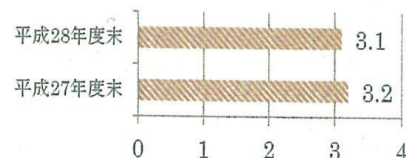
進んであいさつをしている



学校は楽しい(児童) 喜んで学校に通っている(保護者)



友達のよいことを見つけ、ほめたりはげましたりしている(児童)



次年度に向けて

- ★様々な場や場面において、年間を通して挨拶向上の取組の計画を立て職員と児童が一体となってあいさつ運動を行っていきます。
- ★今後も児童一人一人との面談や定期的に行っている「子どもを語る会」を通して児童理解に努めていきます。

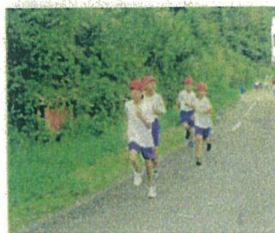
体育

健康な体

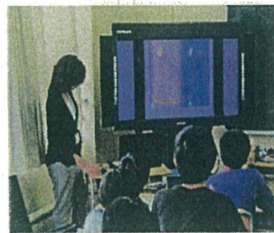
○健やかな体づくりのために

重点的な取組

- * 体力向上のためにプログラム化した運動の実践
- * 保健学習や学級指導，給食時の指導の徹底
- * メディアコントロール能力を育てるための家庭ルールづくりの奨励
- * 遊びが十分できる環境づくり（学校の施設設備の充実）
- * 発達段階に応じた食育のための学習の充実



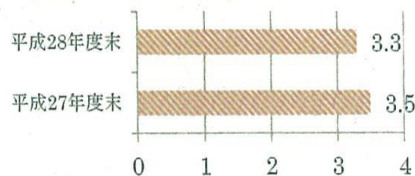
マラソン大会



メディアコントロールの授業

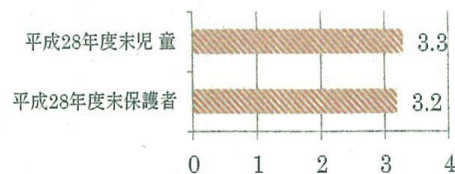
・体力テストや水泳，マラソン練習等で学習カードから前年度の自分の記録を基に今年度の目標設定をして取り組むことができました。

運動会や体力テスト・水泳・体育の時間などで目標を設定し努力している。（児童）



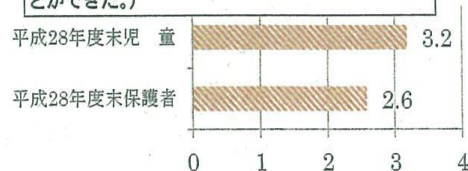
・ハッピーライフウィークの取組は3年目になり，取組後のカードのコメントから家庭の協力が得られていることがわかります。今後も放送等で取組の意識付けを図っていきます。

ハッピーライフウィークで生活を振り返り，自分の課題を見つけて健康的な生活を送ろうとしている。



・メディアコントロールについては，今年度末の結果は，児童と保護者には大きな開きがありました。原因を探り健全な取組ができるように努めていきます。

家で決めたテレビやゲームの時間の約束を守ることができた。）



次年度に向けて

- ★体力テストでは，課題となる種目の運動につながる運動を体育等の準備運動に取り入れて課題の改善を図っていきます。
- ★ハッピーライフウィークの実施期間だけでなく，継続して取り組めるような手立てを考えていきます。

保護者の声

紙面の関係で全員の皆様の声を掲載できませんでした。ご承知ください。



○肯定意見 ●課題

- 子供から「学校に行きたくない」とは一度も聞いたことがないし、反対に給食の献立を見て毎日楽しみにしています。親の私が感心する所は、決められたことや宿題など分からないと親に聞いて取り組む姿があります。日々の子どもの成長を楽しみにしています。
- 子供たちのあいさつが気になります。高学年になればなるほど、「自分から進んであいさつ」ができていないように感じます。(親・友達ではなく、地域の人たちにするあいさつ)
- 最近は、朝起きたときに「おはよう」とあいさつができるようになりました。家に帰ってきてから今学校で何したの?と聞くと、学校で起きたことをいろいろと話してくれて友達の〇〇さんと何々して遊んだよ!と楽しそうに話してくれます。また、保護者が困っているとき親身になって話をしていただきありがたいです。
- スキー体験についてはよい事業だと思います。普段、なかなか友達とスキーに行ったことはないと思うので、楽しさが何倍にもなりますし、新潟県に住んでいる限りスキーができるようになってほしいと思っていましたから、いい体験をさせることができて良かったです。
- 学校のブログやホームページをいつも楽しく見ています。
- 先生方もお忙しいとは思いますが、もう少し学年のHP更新があると親としてはうれしいかな?と思います。(自分の子の学年だけでなく、他の子の学年も楽しく見ています。学校生活が良く分かり、良いと思います。)
- 12月7日の学習参観の「いじめ」について、残念な結果だったのを知ることができ、有意義でした。それについて、早速話し合うことができ、本人も納得の様子。自分に置きかえて考えてみることの大切さを分かってくれたと思います。『相手を思い(想い)やる』これからの大切なテーマとして胸に刻んでほしいです。

保護者の声を受けて

*あいさつについて

あいさつは人と人とが生活していくうえで最も基本的な内容であり、最も大切な事の一つであると考えています。あいさつをよくするためには、学校だけの取組、或いは家庭だけの取組では不十分です。地域・家庭・学校が互いに連携して取り組み、大人自ら範を示す事が大切であると思います。次年度もそれぞれの立場でできることに取り組んでいきたいものです。

*学校行事等の保護者への連絡について

全校海水浴やスキー教室については今年度初めての活動でした。全校海水浴は天候の関係で実施できませんでした。スキー教室は子供たちにとってはとても良い体験であったことが多くの保護者の皆様から寄せられました。新しい行事を実施するに当たっては、保護者の皆様と連携をとりながら進めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

*ブログ・ホームページについて

ブログは週に1回のペースで、ホームページの更新は毎月1回は行っています。学校の様子については、学校だよりや学年だより等がありますので、詳しいことはそれらをご覧ください。

*相手を思いやる心の育成について

出雲崎小学校では、学級の道徳の時間やハッピーハート集会等で実際の具体的な生活場面を想定してどのような言動をとったらよいか一人一人の児童に考えさせる場面を設定しています。これらの時間の中で相手を思いやる気持ちを育んでいます。

2. 出雲崎中学校

5

平成28年度 出雲崎中学校グランドデザイン

生徒の実態

- ・素直で明るく素朴である。
- ・より向上しようとする意欲に欠ける面がみられる。
- ・自学の習慣が身につけていない。
- ・郷土の自然や文化への関心が薄い。

地域や保護者の願い

- ・素直で、やさしく、活発な人間に育つことを望んでいる。
- ・古くからある歴史、文化を理解し、出雲崎に誇りを持ち、将来出雲崎町のために尽くす人間に成長して欲しいと考えている。
- ・個人として自立し、自ら判断し、行動できる人間になって欲しいと願っている。

教育目標
豊かな心（徳）たくましい実践（知）（体）

28年度の重点課題
・学力の向上（知）
・人間関係づくり（徳）

年度の重点目標 = 育てたい生徒の姿
たくましい実践（知）意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒
豊かな心（徳）目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒
お互いを思いやる、心優しい生徒

年度の努力事項

重点目標	徳：お互いを思いやる心優しい生徒	知：意欲をもってわかるまでできるまで学ぶ生徒	体：目的をもって自己に挑戦し自ら鍛える生徒
努力事項	1 相手の立場を考えて行動するコミュニケーション能力を育成する。 2 互に関心をもち、関わり合う活動を通して自己肯定感、自己有用感を育む。 3 人権教育・同和教育の充実を通して、差別や偏見をしない・させない人間関係づくりを醸成する。	1 知識・技能の着実な習得と、活用場面の充実を通して、学びの実感を育む。 2 言語活動の充実を通して、考えを深められる生徒を育成する。 3 キャリア教育の充実を通して、学ぶ意義や目的を見出し、主体的に学ぶ意欲を育む。	1 具体的な目標をもって、継続的に体力の向上を図ろうとする生徒を育成する。 2 自己管理に対する高い意識をもち、基本的生活習慣（メディアコントロール・睡眠時間・食生活）を確立する生徒を育成する。

出雲崎町教育計画

出雲崎町がめざす教育の姿
夢をもち、感性豊かで、
たくましい心と体
（知）9年間を見通した系統だった指導計画の作成と遂行
（知）発達段階に合った学習規律の確立
（知）発達段階に応じた授業と結びついた家庭学習の確立
（徳）豊かな感性を備えた自立した人間の育成
（体）発達段階に即した基本的な生活リズムの確立
（特別支援）一人一人の障害に応じた関係機関と連携した継続的な指導

目標達成計画

	自己肯定感・自己有用感	学力向上	体力の向上
成果	・多くの生徒が「自分にもよい点がある」「集団の役に立っている」と実感して学校生活を送る。	・12月のまとめテストの結果が昨年度を上回る。	・新体力テストで、48項目中、県平均を33項目以上越える。
教育活動	ア 専門委員会や学級の係活動などで積極的に活動し自分の役割を果たす。 イ 友達の良さががんばりを認め、それを相手に伝えることができる。	ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。 イ 授業時間のうちに理解したり、覚えたりする。 ウ 毎日60分以上家庭学習に取り組む。	・授業で行う体力トレーニングを質量ともに高い目標をもって行う。
運営活動	ア 自主的、自発的な勤務・奉仕活動が行われるような活動の仕方と生徒の関わり合い方を工夫する。 イ 諸活動において、生徒たちが互いのよさががんばりを認め合う評価活動を取り入れる。	ア チャイムと同時に学習活動を毎時間準備する。 イ 習得や活用場面を明確にした授業を展開する。 ウ 生活ノートで家庭学習の予定や記録を毎日点検する。	・新体力テストの結果を分析し、生徒一人一人の課題に基づいたトレーニング法を指導する。 （自主トレーニングカードを活用し、6ヶ月後の数値向上を目指したトレーニングを行わせる。）
成果	・多くの生徒が安心して過ごせる学校、学級集団であると感じる。	・学ぶ意義や目的を明確にし、意欲的に学習に取り組む生徒の割合が増える。	・元気アップ週間での3項目を意識しながら生活できる生徒が80%以上になる。
教育活動	ア 諸活動において他者に対して思いやりの気持ちをもって取り組む。 イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	ア 人に説明したり伝えたりすることを目標に学習する。 イ ワークに計画的に取り組む、期限を守って進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	・元気UP週間目標を設定し、記録用紙を使って取組の振り返りを行う。
運営活動	ア ソーシャル・スキル・トレーニングに関する授業を年間3回以上実施する。 イ 生徒の人間関係に関する意識調査を年5回以上実施し、連動して教育相談を実施する。	ア 学び合いや関わり合いが生まれる学習課題や学習形態を工夫する。 イ 提出物の期限や取り組み方を継続して定期的に指導する。 ウ 総合的な学習の指導で、事後のまとめ方を見通して、事前の指導を行う。	・全職員が元気アップ週間中に生活習慣改善に向けた啓発活動を生徒・保護者に対して行う。

評価サイクルによる評価の実施

学校評価（内部評価・外部評価・学校関係者評価）

評価結果の公表（保護者、地域）

次年度の課題・改善へ

特別支援教育

目標 一人一人の特別な教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行うことにより、将来的に自立した社会生活を送るための基礎的・基本的な知識と技能を身に付けさせる。

1年時
◎中学校生活のリズムを掴ませ、学校生活への適応を促す
◎生徒の状況を正しく伝え、保護者との連携を強める

個別指導の充実

2・3年時
◎自己理解を促し、自分の適性に合わせて良さを伸ばし、自己肯定感を高めさせる
◎生徒の状況を正しく伝え、保護者との連携を強める
◎進路に目を向けさせ、学習・生活の自立を促進する

平成28年度 出雲崎町立出雲崎中学校 学校の目標達成計画 取組の結果

知	評価項目	評価基準	評価	備考
学力向上	成果 ・12月のまとめテストの結果が昨年度を上回る。	全体平均を100として A: 105以上の教科が10/15以上 B: 105以上の教科が8/15以上 C: Bに満たない	B	・105以上の教科が 1年 4/5 2年 4/5 3年 1/5 全体 9/15
	教育活動 ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。	生徒の授業アンケートで A: 95%以上が肯定的評価 B: 80%以上が肯定的評価 C: Bに満たない	A	・肯定的割合 1年98% 2年99% 3年98% 全体98% (1学期末) 1年100% 2年99% 3年99% 全体99% (2学期末) 通年 全体 99%
	イ 授業時間のうちに理解したり、覚えたりする。	生徒の授業アンケートで A: 75%以上が肯定的評価 B: 60%以上が肯定的評価 C: Bに満たない	A	・肯定的割合 1年98% 2年99% 3年98% 全体98% (1学期末) 1年100% 2年98% 3年98% 全体99% (2学期末) 通年 全体 99%
	ウ 毎日60分以上家庭学習に取り組む。	生徒の学校生活アンケートで A: 65%以上が肯定的評価 B: 50%以上が肯定的評価 C: Bに満たない	A	・肯定的割合 1年91% 2年93% 3年87% 全体85% (1学期末) 1年80% 2年43% 3年82% 全体84% (2学期末) 通年 全体 65%
	運営活動 ア チャイムと同時に行う学習活動を毎時間準備する。	教師の評価で A: 全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	・肯定的割合 10/11 (1学期末) 11/11 (2学期末) 通年 全体 21/22
	イ 習得や活用の場面を明確にした授業を展開する。	教師の評価で A: 重点単元において、全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	A	・2学期末肯定的割合 (2学期のみ評価) 10/10
自ら学ぶ意欲の育成	ウ 生活ノートで家庭学習の予定や記録を毎日点検する。	教師の評価で A: 生活ノートを点検する全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	A	・肯定的割合 3/3 (1学期末) 4/4 (2学期末) 通年 全体 7/7
	成果 ・学ぶ意義や目的を明確にし、意欲的に学習に取り組む生徒の割合が増える。	教育活動のア、イ、ウの評価で A=3点、B=2点、C=1点として、合計が A: 8, 9点 B: 5~7点 C: 3, 4点	A	・教育活動のア、イ、ウの評価の得点 3点×3=9点
	教育活動 ア 人に説明したり伝えたりすることを目標に学習する。	生徒の授業アンケートで A: 75%以上が肯定的評価 B: 60%以上が肯定的評価 C: Bに満たない	A	・肯定的割合 1年88% 2年85% 3年89% 全体87% (1学期末) 1年96% 2年83% 3年91% 全体90% (2学期末) 通年 全体 89%
	イ ワークに計画的に取り組む、期限を守って提出する。	生徒の授業アンケートで A: 95%以上が肯定的評価 B: 80%以上が肯定的評価 C: Bに満たない	A	・肯定的割合 1年91% 2年98% 3年93% 全体94% (1学期末) 1年96% 2年97% 3年96% 全体96% (2学期末) 通年 全体 95%
	ウ 進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	教師の見取りで A: 65%以上の生徒が適切に目標設定 A: 50%以上の生徒が適切に目標設定 C: Bに満たない	A	・肯定的割合 1年91% 2年97% 3年87% 全体84% (1学期末) 1年100% 2年97% 3年97% 全体98% (2学期末) 通年 全体 91%
	運営活動 ア 学び合いや関わり合いが生まれる学習課題や学習形態を工夫する。	教師の評価で A: 全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	・肯定的割合 9/10 (1学期末) 8/10 (2学期末) 通年 全体 17/20
	イ 提出物の期限や取り組み方を継続して定期的に指導する。	教師の評価で A: 全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	B	・肯定的割合 14/15 (1学期末) 13/13 (2学期末) 通年 全体 27/28
	ウ 総合的な学習の指導で、事後のまとめ方を見通して、事前の指導を行う。	教師の評価で A: 全教師が肯定的評価 B: 2/3以上が肯定的評価 C: Bに満たない	A	・肯定的割合 10/10 (1学期末) 16/16 (2学期末) 通年 全体 26/26

徳	評価項目	評価基準	評価	備考
自己肯定感・自己有用感	・多くの生徒が「自分にもよい点がある」「集団の役に立っている」と実感して学校生活を送る。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が80％以上 B：肯定的な評価割合が60％以上 C：Bに満たない	B	1学期末の肯定的な評価割合 ・「自分にもよい点がある」：75.6％ ・「集団の役に立っている」：59.3％ 2学期末の肯定的な評価割合 ・「自分にもよい点がある」：77.1％ ・「集団の役に立っている」：74.7％
	ア 専門委員会や学級の係活動などで積極的に活動し自分の役割を果たす。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が90％以上 B：肯定的な評価割合が75％以上 C：Bに満たない	B	1学期末の肯定的な評価割合：89.5％ 2学期末の肯定的な評価割合：89.2％
	イ 友達の良さががんばりを認め、それを相手に伝えることができる。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が80％以上 B：肯定的な評価割合が60％以上 C：Bに満たない	A	1学期末の肯定的な評価割合：80.2％ 2学期末の肯定的な評価割合：83.1％
	運営活動			
豊かな人間関係	ア 自主的、自発的な勤労・奉仕活動が行われるような活動の仕方と生徒の関わり合い方を工夫する。	教師のアンケートで A：肯定的な評価割合が80％以上 B：肯定的な評価割合が60％以上 C：Bに満たない	A	1学期末の肯定的な評価割合：76.9％ 2学期末の肯定的な評価割合：93.8％
	イ 諸活動において、生徒たちが互いのよさやがんばりを認め合う評価活動を取り入れる。	教師のアンケートで A：月1回は取り入れた職員が80％以上 B：学期1回は取り入れた職員が80％以上 C：Bに満たない	C	1学期末 月1回は評価の場を設定した：25％ 学期に1回は設定した：66.7％ 2学期末 月1回は評価の場を設定した：50％ 学期に1回は設定した：66.7％
	成果	・多くの生徒が安心して過ごせる学校、学級集団であると感ずる。	A	1学期末の肯定的な評価割合：87.2％ 2学期末の肯定的な評価割合：91.6％
	教育づくり			
関係づくり	ア 諸活動において他者に対して思いやりの気持ちをもって取り組む。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が90％以上 B：肯定的な評価割合が75％以上 C：Bに満たない	A	1学期末の肯定的な評価割合：87.2％ 2学期末の肯定的な評価割合：91.6％
	イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	生徒の学校生活アンケートで A：教育相談の際に相談できたと回答する生徒の割合が95％以上 B：教育相談の際に相談できたと回答する生徒の割合が80％以上 C：Bに満たない	B	1学期末 教育相談の際に相談できたと回答する生徒の割合：74.4％ 2学期末の肯定的な評価割合 教育相談の際に相談できたと回答する生徒の割合：80.7％
	運営活動			
	ア ソーシャル・スキル・トレーニングに関する授業を年間3回以上実施する。	教師のアンケートで A：月1回は取り入れた職員が80％以上 B：学期2回は取り入れた職員が80％以上 C：Bに満たない	C	1学期末 月1回は授業を実施した：14.3％ 学期に2回は授業を実施した：57.1％ 2学期末 月1回は授業を実施した：37.5％ 学期に2回は授業を実施した：50％
	イ 生徒の人間関係に関する意識調査を年5回以上実施し、連動して教育相談を実施する。	A：全員に教育相談を実施した際に意識調査が役立ったと答える職員が80％以上 B：全員に教育相談を実施した C：Bに満たない	B	1学期末 意識調査を生かした：85.7％ 2学期末 意識調査を生かした：75％

体	評価項目	評価基準	評価	備考
体力の向上	・新体力テスト（全国共通テスト）で、48項目中、県平均を33種目以上越える。	新体力テストの結果で A：県平均を33種目以上越える B：県平均を30種目以上越える。 C：Bに満たない。	A	28年度県平均比較で33種目達成
	教・授業で行う体力トレーニングを質量ともに高い育目標をもって行う。	生徒の授業アンケートで「あなたにとって運動やスポーツは大切なものですか」という質問に A：肯定的な生徒が90%以上 →否定的な生徒が7人以下 B：肯定的な生徒が85%以上 →否定的な生徒が12人以下 C：Bに満たない。	A	1学期 否定的な生徒 7名 1年 2女卓4吹6吹18男卓 2年 2吹 3年 20吹 25吹 2学期 否定的な生徒 3名 1年 6吹17吹 2年 3年 20吹
	運・新体力テストの結果を分析し、生徒一人一人の営課題に基づいたトレーニング法を指導する。 活（自主トレーニングカードを活用し、6ヶ月後の動数値向上を目指したトレーニングを行わせる。）	2学期後半に室内7種目を再測定し、4種目以上向上した生徒（1・2年生）が A：80%以上を越える。 B：65%以上を越える。 C：Bに満たない。	C	28年度 1年生 22.7%（5名） 2年生 37.9%（11名） 合計 31.4% 27年度 1年生 63%（19名） 2年生 50%（15名） 合計 56.6%
基本的な生活習慣の確立	・元気アップ週間での3項目を意識しながら生活できる生徒が80%以上になる	・4回の元気アップ週間の数値が80%以上となった項目が A：3項目 B：2項目 C：Bに満たない	B	1回 睡眠 66.9% 対47 81.6% 朝食 81.3% 2回 睡眠 74.2% 対47 80.6% 朝食 80.1% 3回 睡眠 59.5% 対47 84.8% 朝食 81.2% 4回 睡眠 62.3% 計65.7% 対47 80.6% 計81.9% 朝食 78.9% 計80.4%
	教・元気UP週間で目標を設定し、記録用紙を使って育取組の振り返りを行う。	・元気アップカードを期限内に提出した割合が A：平均98%以上で全員提出が2回以上 B：期限内ではないが全員が提出する。 C：Bに満たない	A	第1回 全員提出 100% 第2回 全員提出 100% 第3回 全員提出 100% 第4回 全員提出 100%
	運・全職員が元気アップ週間中に生活習慣改善に向けた営取組を生徒・保護者に行う。	・教師の評価で、積極的に働きかけたと答える割合が、 A：90% B：75%以上 C：Bに満たない	B	1学期教員の評価 積極的に働きかけた 68.8% 2学期教員の評価 積極的に働きかけた 83.3% 1・2学期平均 76.1%

3. 出雲崎町キャリア教育の取組み



平成27・28年度

出雲崎小学校・出雲崎中学校の

**キャリア教育を
振り返って**

出雲崎町教育委員会

未来への扉を開くキャリア教育推進事業

出雲崎町教育委員会

I 新潟県キャリア教育基本方針

児童生徒がふるさと新潟で夢をかなえるため、ふるさとへの愛着と誇りと、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育みます。

II 出雲崎町キャリア教育基本方針

- 地域の偉人「良寛学習」を通して、地域への理解を深め、郷土に対する愛着を育む。
- 地域行事に積極的に参加し、伝統行事の意味や、行事に対する人々の思いに触れる。
- 地域に根ざした産業を直接体験することによって、それぞれの仕事の意味を知り、働くことの意義を考える。
- 保護者の職場での体験活動を通して、親子で働く意義や意味を話し合い、自らの生き方を考える一助とする。
- 地域学習を通して、地域の人々と語り合い、地域の将来像を考える機会とする。

III 具体的な取組

- 小学校・中学校の9年間を見通して、計画的にキャリア教育を位置づけた教育活動を推進する。
- 小学校・中学校の9年間を通して「良寛学習」に取り組み、地域の文化や伝統について理解を深める取組を推進する。
- 地域の職場及び保護者の職場での体験活動や福祉施設訪問を通して、働く意義を考えると共に、自己有用感を醸成する。
- 学校と地域が積極的に関わる機会を計画的に位置づけ、地域の現状を理解すると共に、地域の将来に向けた展望を考える。

IV 出雲崎町キャリア教育を通して目指す姿

- 出雲崎町のキャリア教育は、自らの気付きと課題を明確にして学習意欲を高めます。
また、出雲崎町の魅力や出雲崎の人々の魅力に出会って気付いたり感動したことを大切にしています。そのような出雲崎町のよさを体感している児童生徒が育成されています。

出雲崎町キャリア教育を通して目指す姿

- 1 良寛学習を通して郷土への愛着と誇りをもてる児童生徒
- 2 自分の未来を考え、今なすべきことを見通し、実践できる児童生徒
- 3 自分の将来の夢や目標、地域の未来について家族、友達や地域の人と真剣に話し合う児童生徒

平成27・28年度出雲崎町の小学校と中学校の共通の取組

1 伝統行事への参加

6月の出雲崎大祭など出雲崎町の伝統行事には、小学生と中学生が一緒になって積極的に参加しています。地域の熱い活動を見たり、参加したり、貢献したりすることで伝統の素晴らしさを知ることになってきました。このような伝統行事の意味や人々の思いに触れて郷土への愛着を育んでいます。



2 合同の挨拶運動

小学校の児童会と中学校の生徒会が一緒になって挨拶運動を実施しています。各学校内の挨拶や登下校の挨拶につなげていき、日本一の挨拶を目指しています。

3 夢創造ナビゲーションサミット

28年10月26日に「夢創造ナビゲーションサミット」を実施しました。小林町長はじめ小学校6年生や中学校2年生、保護者の皆様、教職員、教育委員会、キャリア教育の担当者などが参加して出雲崎町の未来について熱く語り合いました。出雲崎町の未来について思いを寄せることで自分自身が将来どのように歩いていくのかを考えていく機会となっています。



平成27・28年度「出雲崎小学校の取組」

1 良寛学習

小学校では、地域の偉人「良寛」について学んでいます。良寛の生き方を町の施設巡りや書物、俳句教室や書道教室を通して自分なりに感じとっていきます。遠足などでも良寛記念館や芭蕉園など良寛ゆかりの地域を訪ねて学びを深めています。



白雪の
日毎に降れば
わが宿は
たづぬる人の
あとさへぞなき

月よみの
光を待ちて
かへりませ
山路は栗の
いがの多きに

垂乳根（たらちね）の
母が形見と
朝夕に
佐渡の島辺を
打ち見つるかも

この頃は
早苗とるらし
わが庵は
形を絵にかき
手向けこそすれ



2 資源回収活動

地域住民の協力をいただき、資源回収活動や地域行事に積極的に参加しています。

自然にボランティア活動の大切さを実感しています。また、多くの地域の方々との触れ合いでコミュニティの必要性も認識できているようです。



3 町の魅力に浸る

出雲崎町の魅力について、その場所を訪ねたり体験したり、見聞きすることで出雲崎町の素晴らしさを知る機会としています。様々な活動を通して出雲崎の未来を真剣に考えるようになっています。地域の思いに触れる経験は多くの成長につながっています。



4 地域の匠に学ぶ

出雲崎町で活躍している地域の方々から仕事の説明や体験を通して、仕事への意識や誇り、やりがいなどを感じとっています。出雲崎町の匠との出会いがこれからの自分を見つめるきっかけになっています。



平成27・28年度「出雲崎中学校の取組」

1 職場体験活動

中学校では少人数での職場体験を実施しています。働く意義を人間関係を深める場やコミュニケーションの場として考えるようになっていきます。一つのことをやり遂げ、新しい何かを吸収でき、社会貢献できることを実感しています。



2 地域貢献活動

生徒会が主催して福祉施設での手伝いや地区毎の奉仕活動に全生徒が参加しています。また、防災訓練では誘導や物資管理、炊き出し等をして社会貢献活動を育んでいます。地域と触れあうことで社会とのつながりや体験を通して成長しています。



3 子ども参観日

家族の働く姿を見たり聞いたりする「子ども参観日」を実施しています。将来を家族と話し合う機会は、早期から自分の生き方を考えていくことになり家族の理解に繋がっていきます。今年は、夢ナビカルテを使って小学校も中学校も進学への意識を高めています。



4 家族や地域の人々と語る

中学校では、職場体験や職場参観後に、家族との話し合いをしています。働くことや将来の生き方について感じたことをレポートにまとめています。家庭で、生徒の将来を話題にする機会が増えてきました。

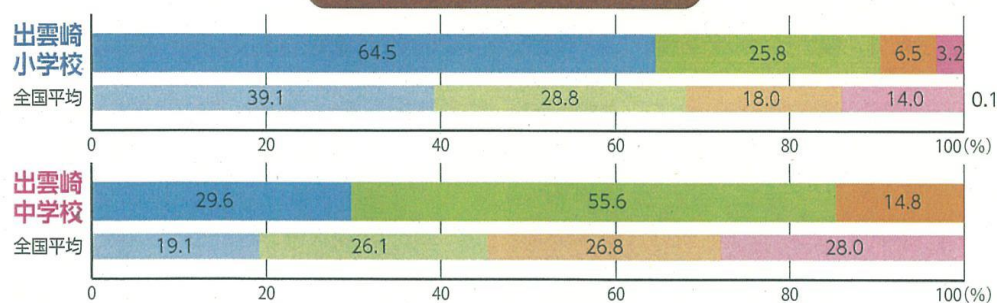


地域に対する意識

(平成28年度の全国学力学習状況調査)

■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■その他、無回答

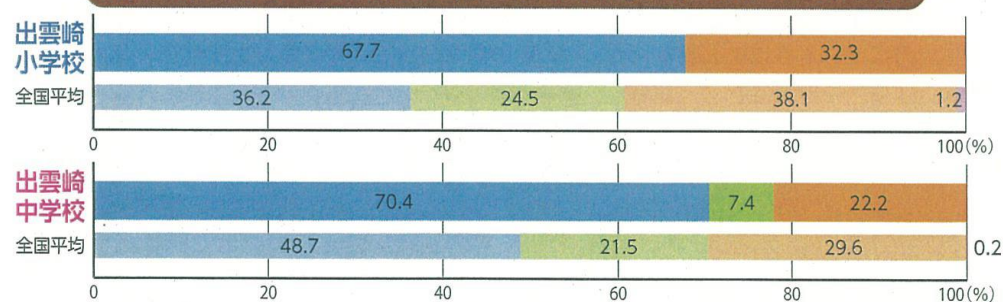
地域行事に参加していますか



地域や社会への出来事に関心はありますか



地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか



新潟県で、いじめ防止などを目的とする県民運動を始めてから、10年目の節目を迎えます。「いじめを見逃さない。許さない。」を合言葉にして、学校、家庭、地域が一緒になって子どもたちを見守り、いじめを見逃さないようにしましょう。

出雲崎町教育委員会

〒949-4342
新潟県三島郡出雲崎町大字米田281-1

TEL 0258-78-2250

FAX 0258-78-4559

4. 学校支援地域本部事業



学校支援地域本部事業報告

出雲崎小学校

平成29年3月

出小っ子 だより

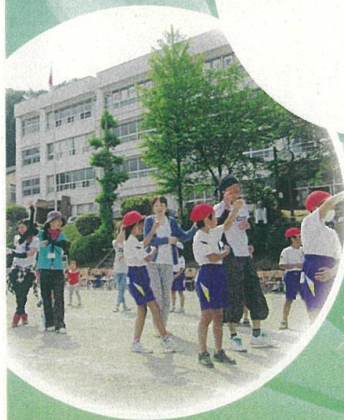
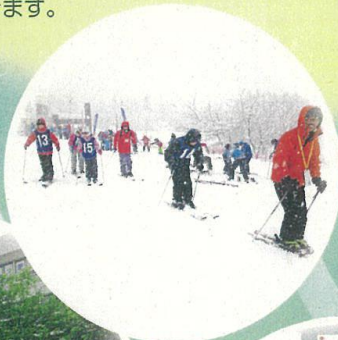


～出小の宝物～

学校長 長尾 昭 浩

28年度の学校の合い言葉は、「宝がいっぱい出小～出雲崎の良さを存分に生かす学校～」でした。子供たち一人一人がどんな宝物を見つけるのか、とても楽しみにしながら教育活動が行われてきました。そして、この学校支援地域本部事業のおかげで、多くの宝物を手にすることが出来ました。

児童の教育活動に携わっていただいた全ての皆様に感謝を申し上げます。今年度の活動の一端を紹介させていただき、御礼とご報告とさせていただきます。



1年

大すきいっぱい～みんなでなかよくチャレンジ～ なかよいいっぱい

入学してから、毎日が“はじめて”の連続で、ドキドキワクワクしながら、たくさんのことにチャレンジしました。ヤギの「しろ」と「ろろ」とのふれあいでは、命の温かさを感じ、みんな一生懸命お世話をしました。ほなみが丘の自然や海遊び、芋掘り、そり遊びなど、自然・生き物・人々とのかかわりはすてきな宝物になりました。



ヤギと遊ぼう



サツマイモ掘り



ホオノキの風車

2年

見つけよう～自然・人との関わりを通じて～ そだてよう

2年生は1年を通じて、野菜作りと地域探検を中心に学習してきました。野菜の成長の様子を五感で捉え、それを絵や文章で表現しました。2学期に育てた大根は、地域の朝市で販売をし、地域の人々と関わることができました。駅前の菓子屋さんへ行くなど、地域のよいところもたくさん発見できました。



いずもぎの味



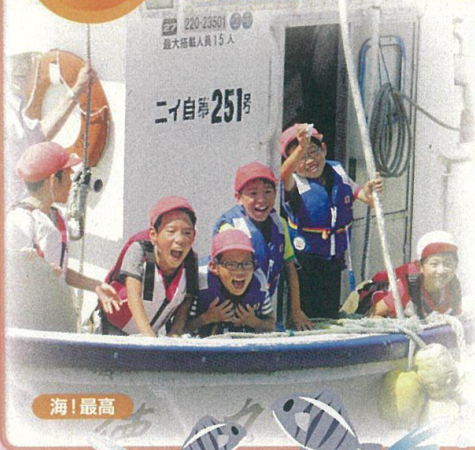
大根の販売



大根の収穫

3年

発見!～ときめき 出雲崎～



海!最高



大漁旗に絵をかこう



いかすまきにチャレンジ



うまい!浜焼き

大好きな出雲崎を大きな“大漁旗”に描こう!～「夕日の美しい海」「出雲崎大祭」「良寛さま」「船祭り」「海の幸山の幸」「獅子舞」が青空に掲げられました。「発見!ときめき出雲崎!」を合い言葉に、見て・聞いて・歩いて・やってみよう!と、探検がスタート。漁船から見た海岸・海原・青空。熱々をほおばった浜焼き。一生懸命作った紙風船。みんなで作った“いかすまき”。鮎獅子や出雲崎の昔語り、良寛様の逸話もたくさん聞かせていただきました。たくさんの地域の方々との出会いは、まさに“ときめき”でした。人から人へ・・・伝えられてきた素晴らしい宝物。今度は、ひのきのみんなが伝えていってくれることでしょう。

4年

宝がいっぱい出雲崎

～自然と共に生きる～



しいたけのこまうち体験



間伐の見学



海岸での活動

海あり山あり自然いっぱい出雲崎。出雲崎の自然環境にスポットを当て、自然と共に生きる知恵を学んでいきました。しいたけのこまうちに、海岸でのゴミ拾い、森林の手入れである間伐の見学。自然とふれ合いながら、出雲崎の人々が昔から自然に寄り添いながら生活している様子に思いを巡らせました。

5年

食と命

～命のつながりを考えよう～

育苗センターやアイガモ農法の見学、米作り体験などを通して、たくさんのことを学びました。食を育てることの大変さや、食を支えている方々の努力に気づき、命について考えました。また、餅つき、いがだんご作り等、収穫した新米や餅米を味わい、収穫の喜びを感じることができました。調べ活動や地域の方々とかかわりを通して、出雲崎の様々な食の恵みを知り、感謝する貴重な機会となりました。



収穫の喜び！稲刈り体験



アイガモ農法見学



いがだんご作り

6年

ふるさとに生きる

～これからの自分の在り方を考えよう～

出雲崎町の偉人、良寛さん。良寛さんの生い立ちを調べ、良寛さんのやさしい人柄をたくさん発見してきました。また、様々な分野で活躍される方に来校していただき、経験談を聞きました。子供たちへの励ましの言葉も頂きました。様々な方の話を聞いて、現在の自分を見つめ直しました。将来の自分や出雲崎町を想像し、よりよくするため、粘り強く何度も自分の考えを練り上げながら取り組んできました。



佐渡旅行 良寛さんの母の故郷を訪ねる



エラヒ夫妻に学ぶ



巨大書に学ぶ



天領の里 佐渡は世界の宝島 DVD 出演

遠足で地域巡り



目的地に向かってGo!



かにつり体験

秋晴れの下、子供たちはふた葉班に分かれ、いろいろな場所を見学したり、様々な体験をしたりしながら、出雲崎の良さを自分の目で発見して来ました。多くの地域の人々から声を掛けていただきました。



紙風船作り



牛にえさやり「たくさん食べてね」



大きなコイにびっくり



運動会で短距離走出場



ふた葉まつりでのバルーンアート



安全・安心・海遊び

今年度は、例年以上の活躍ぶりを披露していただきました。保護者のみなさんの創意あふれる取組は子供たちを大いに楽しめるとともに、あこがれの姿として心に刻まれました。

美しい響きのPTA合唱



創意あふれる取組

～保護者のみなさんの支援～

魅力ある人との出会い

教育財産の宝庫である私たちのまち、出雲崎には、良寛さまをはじめ魅力ある人が大勢おられます。人との出会いによって、子供たちは心を揺り動かされ、自らの在り方・生き方を考えました。



良寛さまを知る



シンガーソングライターの先輩と...



昔語りを聞く



夢ナビゲーションサミットで小林町長と...



プロ野球選手になった先輩と...

5. 中学校 PTA 広報



さわらび No.150

平成28年度 第2号 出雲崎中学校PTA 出雲崎中学校後援会
発行責任者 / PTA広報委員長 春木啓予



「さわらび」とは芽をだしたばかりのわらびのこと。生徒が大きく成長することを願っての名称です。

福祉体験

三年 村松 宝

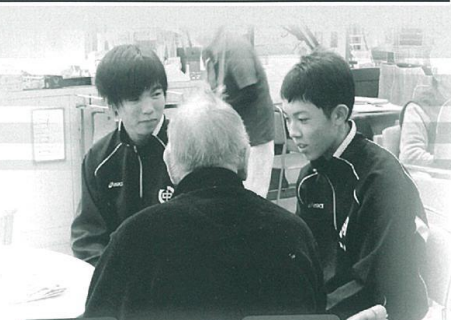


僕は、福祉体験活動で、出雲崎デイスタービスセンターへ行きました。

今まで一度も行ったことがなかったので、緊張しました。

最初は何をしていたかわからず、戸惑っていたけれど、施設の方と一緒に、話したり、オセロなどをしていたりするうちに自然と自分から話しかけることができたのでよかったです。また、普段聞けないような話をしてくださり、とてもおもしろかったです。施設の方も笑顔で話してくださり、喜んでくれたのでよかったです。この体験を、他のところにも生かしていければいいと思います。

体験学習



新潟巡検で学んだこと

二年 穂苅虎汰朗



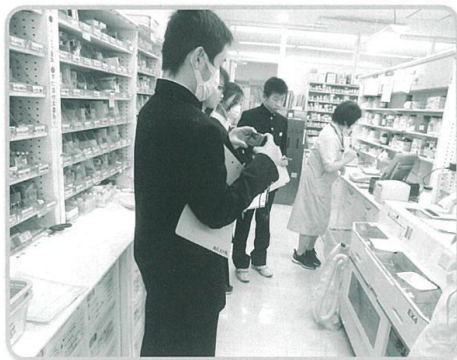
僕は新潟巡検で新潟市民病院と新潟県立自然科学館に行ってきました。

そこで働いている方々に質問をして様々なことを学びました。

市民病院では、薬剤師の方から、設備の説明や、薬の調合の方法や薬の種類などを教えてもらいました。薬はその人に合った薬を作らないと体をこわしたりしてしまうことなどを知り、慎重に仕事をしていることを学びました。

自然科学館では科学のことだけでなく、仕事のやりがいなども教えていただきました。

将来僕が働く時は今回学んだことを役立てたいです。



職場体験を終えて

一年 古矢莉子



私は職場体験で「良寛牛乳」に行きました。

そこでは、同じ

ことをくり返す作業がほとんどでした。たとえば、ヨーグルトのトレー折りならば、トレーが何十枚もあってそれを一枚ずつ折っていくという作業です。私は、作業をしているとき、時々集中がきれて友達としゃべってしまう時があったけれど、職場の方々は、集中していて動きが速くてびっくりしました。

この職場体験で一つ一つの作業に責任をもつことの大切さを学ぶことができました。この経験を将来、仕事をするときにいかしたいです。



御協力ありがとうございました。

資源物回収収益金
170,560円



後援会費の集金御礼

平成28年度出雲崎中学校後援会評議員会の活動として行われました後援会費の集金が完了しましたので報告させていただきます。

1,452口

集金額 726,000円

PTA全校奉仕活動

奉仕活動に参加してみて

一年P 田崎美弥子

私は、今回初めて奉仕活動に参加させてもらいました。

初めは、大きなグラウンドで正直、綺麗になるか不安でしたが、先生方をはじめ、子どもたちとPTAの皆さんとの共同作業により、綺麗にすることができました。綺麗になったグラウンドを見て、参加して良かったなと思いました。これからも色々な奉仕活動に積極的に参加していきたいと思っています。



暑い中の草取り

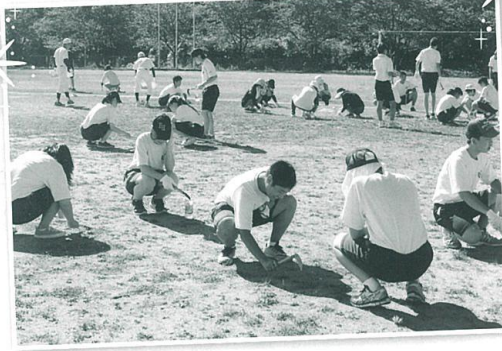
三年 近藤紫穂



最初に、草取りをするエリアが決められ、私は祖母

と一緒に活動しました。根が深い草が多く、また同じ姿勢を続けているので、腰や足が痛くなりました。途中で、大人の人達が草刈り機で草を刈りました。刈っている時、土ぼこりがすごかったですが、とても早く刈れました。

草刈りは暑くて大変だったけれど、グラウンドがきれいになって頑張ったよかったと思いました。



夢創造・ナビゲーションサミット

出雲崎町民の一人として

二年

小崎穂高



月二十六日に

行われた夢創造・ナビゲーションサミットで地域の方々と出雲崎町の良さや課題について話し合い、今後の出雲崎町について考えました。

普段僕は、出雲崎町について考えるということがあまりなかったのですが、このサミットをきっかけに町のことについて考えることができました。

これからも町のことに関心をもち、出雲崎町の今後が良くなっていくように考えていきたいと思っています。



夢ナビに行つて

二年

山田歩奈



私は夢ナビ

崎町の良い所や課題点を改めて知ることができたと思います。また、町長さんの話の中に、昔は出雲崎町に合併の話が出ていたことなど知らないことがたくさんありました。話し合い活動では、自分から意見を出し、分かりやすいように発表ができたと思います。

夢ナビでは他校の取組や、話し合いのやり方など多くのことを学びました。夢ナビで学んだことを、これからの生活に役立てていきたいです。



伝えよう想いを 響かせようハーモニー

合唱コンクール 審査結果

最優秀賞 3年1組
優秀賞 2年1組
優良賞 1年1組

合唱コンクール

3年1組 課題曲「Song is my soul」
自由曲「名づけられた葉」
2年1組 課題曲「マイバラード」
自由曲「予感」
1年1組 課題曲「夢の世界を」
自由曲「星座」



三年 浅野 響
今年の合唱コンクールはとても心に残るものでした。なぜなら、みんな忙しい中、昼休みや放課後の練習を頑張ったからです。時にはふざけたりして本番が大丈夫かと心配したこともありましたが、しかし本番は「伝えよう 想いを響かせよう ハーモニーを」とあるように、しっかりと保護者、地域の方々に想いを伝えることができ、先生方には三年生が成長した姿を見せることができたと思いました。中学校最後の合唱コンクールは大成功だったと思います。

発表会を参観して

一年P 太古理絵



静まり返った会場の中、一人ずつ壇上で堂々と自分の想いを語っている姿に感動しました。決まった時間内に伝えたい言葉をのせることは難しいと思います。選ばれた人は少ないですが、生徒の皆さんが想いを伝える努力ができたのではないのでしょうか。発表会の一週間前、私は福島県の浜通りに行き、初めて震災の現実を見聞きし考えさせられた後だったのです。矢口さんの発表の言葉が深く響きました。福島県の皆さんの言葉だと思っています。未来の五年間が輝きますように。

二年P 石井康朗

十月二十二日に合唱コンクールが開催されました。「伝えよう 想いを響かせよう ハーモニーを」をスローガンに各学年とも素晴らしい歌声を披露していたと思います。

私が中学生の時も合唱コンクールがあり、昼休みや放課後に練習しました。クラスが同じ目標に向かって一丸となった行事だったように記憶しています。

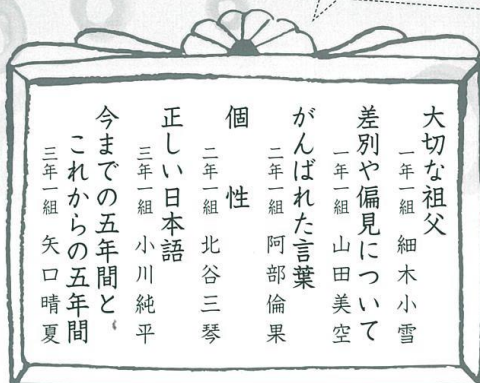
二年生の保護者として、二年生には、来年、今年の三年生のような素晴らしい歌声を聴かせてもらうことを期待しています。

三年P 藤屋由子

体育祭が終わり、中学校生活での大きな行事も、いよいよ卒業式のみとなりました。入学した頃の幼さと歌声は、今では大きく成長し、感謝と期待の感情の中、何か果立ってゆく寂しさも感じました。仲間と共に協力し、成長してきた成果を発揮できるのも最後となり、ステキなハーモニーを響かせた発表会。沢山楽しませてもらい「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。卒業まで残りわずかとなりますが、今の時間を大切に過ごしてもらえたらと思います。

私の主張発表

学習発表会



三年P 木下和美
学習発表会を鑑賞させていただきました。どの学年も素晴らしい歌声で癒やされました。でもやっぱり親バカなので、三年生の最高学年としての貫禄のある歌声に感動しました。三年生はクラスで一つのことを行うのは最後と言っていました。寂しい気もしますが、この発表会を中学校生活の良い思い出の一つとして、この先に進んで行ってもらいたいです。



一年 大矢 怜依
ぼくは、初めての合唱コンクールで「二人一人の大切さ」ということに気づきました。一年生の人数は二十二人と少ないので、一人一人が声をしっかりと出さなければなりません。しかし、合唱練習ではふざけている人が多くいました。それに比べて、二年生、三年生は常に全力で歌っていて、「さすが!」と思いました。今年は残念な結果に終わりましたが、来年はクラスのみなどによりよい合唱を響かせられるように努力していきたいです。

二年 北谷三琴
合唱コンクール当日の最後の合唱練習中、私はとても緊張していました。伴奏者なのに手が震えて思うように動かせず、頭が真っ白になっていました。そんな私の様子を見て、友人が私の手を握りしめ、「大丈夫だよー頑張ろう!」と言ってくれました。そのおかげで、本番は落ち着いてピアノを弾くことができ、クラスのみんなが一生懸命歌う姿や指揮者が思いきって指揮をする姿を見ることができました。二年生全員で合唱ができて本当に良かったです。



二年 北谷三琴
合唱コンクール当日の最後の合唱練習中、私はとても緊張していました。伴奏者なのに手が震えて思うように動かせず、頭が真っ白になっていました。そんな私の様子を見て、友人が私の手を握りしめ、「大丈夫だよー頑張ろう!」と言ってくれました。そのおかげで、本番は落ち着いてピアノを弾くことができ、クラスのみんなが一生懸命歌う姿や指揮者が思いきって指揮をする姿を見ることができました。二年生全員で合唱ができて本当に良かったです。

Ⅳ 社会教育事業の事業実施状況

1. 社会教育・公民館事業

① 青少年教育事業

事業名	事業の対象	実施内容
家庭教育学級	小中学校の保護者	・子育てについての教養を高め、親が子どもの成長に望ましい子育てを目指してもらうため講演会を実施。 - 県立生涯学習推進センターの「にいがた連携講座」と共催で開催。 ・6月12日（日）に開催、参加者数 100 人 ・演題：今、求められる家庭教育 ・講師：新潟県立大学 斎藤 裕 教授
出雲崎ッズ	小学校 1～6 年生の児童	・学校で普段できないようなキッズダンス、英会話教室やコオーディネーショントレーニング（運動能力や運動神経の向上を図る）を体験する。 ・月曜日の 15:20～16:20、夏休みの 13:30～14:30 に開催 ・低学年 23 回、高学年 24 回開催（4～3 月） ・参加児童数 低学年 50 人、高学年 18 人
夜間キッズ （ノーメディア・デー）	小学校 4～6 年生の児童	・テレビやゲーム等に関わる時間を減らし、0 の付く日は家族とのふれ合いや絆を深める時間とするため、体を動かしたり、頭を使ったレクリエーションの実施。 ・0 の付く日の平日の 19:00～20:30 に開催 ・全 22 回開催（4～3 月） ・参加児童数 23 人（平均 8 人）
学びアシスト 『いずも館』 （ノーメディア・デー）	中学校全生徒	・ノーメディアに積極的に取り組んでもらうため、学習の場づくりを目的とし、生徒各自による自主学習方式の実施。大学生に講師を依頼し、疑問点等を相談して問題解決に結びつける。 ・0 の付く日の平日の 19:00～21:00 に開催 ・全 21 回開催（4～3 月） ・参加生徒数 10 人（平均 6 人）

②成人教育事業

事業名	実施内容	
出雲崎総合大学	・住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力があふれ、生きがいのある生涯学習社会の実現を図ることを目的として開催する学習講座 ・全 14 回開催（5 月 18 日～12 月 21 日） うち 7/17(日)と 10/15(土)は公開講座として開催 ・主に平日の 13:30～15:30 に開催 ・入学者数 54 人（延べ 486 人） ・長岡市和島地域、与板地域公民館と共催での良寛講座を含む ・学習内容	
	文化コース	・出雲崎の石碑・石仏 ・【公開講座】「源川彦峰の作品制作と良寛の関係」 源川彦峰先生作品展示と揮毫会も同時開催 ・探訪ツアー ～歴史的建造物の修復を見る～ ・【公開講座】「文字文化と良寛を中心に」 ・県立近代美術館「良寛と巻菱湖～越後が生んだ幕末 2 人の書人～」鑑賞
	理科コース	・植物講座 ～出雲崎のツバキ～ ・健康講座 ～体にいい話し～ ・新潟気象台見学 ・自然講座 ～出雲崎のしじみ～ ・地元の食材料理 ～ギスのマリネづくりに挑戦！～
	歴史コース	・佐渡金銀の周辺 ～人と文化の交流～ ・良寛講座 ～良寛さまのふしぎばなし～ ・上杉と出雲崎の山城 ・出雲崎を訪れた文人墨客～古代・江戸編～ ※県立歴史博物館出前講座は台風の影響により中止



出雲崎ッズ



公開講座

③町民文化教室事業

事業名	実施内容
パソコン教室	・平日の 18:30～20:30 に開催 ・ワードエクセル応用コース 5月31日（火）～6月8日（水） 全6回開催 参加者数 7人 - インターネットデジカメ応用コース 9月5日（月）～12日（月） 全6回開催 参加者数 4人 - 年賀状コース 11月22日（火）～30日（水） 全6回開催 参加者数 5人
料理教室	・土曜日の 9:30～12:30 に開催 ・6月4日（土）、参加者数 9人 [気軽に中華] 9月10日（土）、参加者数 9人 [夏のおもてなしメニュー] 11月26日（土）、参加者数 13人 [正月のおせちメニュー] 3月25日（土）、参加者数 18人 [春の和食]
ガーデニング教室	・土曜日の 10:00～11:30 に開催 ・全8回開催（4～3月） ・参加者数 15人 ・生産者農場見学、季節植物の管理、多肉植物の寄せ植えなど
書道教室	・第1、3木曜日の 19:00～21:00 に開催 ・全28回開催（4～3月） ・参加者数 11人 ・個々のレベルに応じた漢字、かなの書作品に取り組む
英会話教室	・第1、2、4木曜日の 19:00～20:00 に開催 ・前期（5～9月）、全13回開催 参加者数 12人 - 後期（10～3月）、全18回開催 参加者数 11人 ・英語に興味のある方など、本場の英語に触れ、簡単な英会話を習得
ちぎり絵教室	・第2、3火曜日の 19:00～20:30 に開催 ・全19回開催（7～12月） ・参加者数 8人 ・和やかな雰囲気の中、基本から学び、ハガキなどの制作に取り組む



絵画サークル



ガーデニング教室

④文化活動事業

事業名	実施内容
第10回未来の夢こども 体験講演会	・目的 国内外で活躍している方の話を聞き、大きな夢や希望、誇りを持って自らの豊かな人生設計の一助とする ・対象 出雲崎小、中学生及び一般町民 来場者 350人 ・開催日 10月27日(木) ・講師 沼津港深海水族館 館長 石垣幸二氏
文化芸術鑑賞会	・目的 子どもたちに優れた芸術に触れる機会を提供する ・対象 出雲崎小、中学生及び一般町民 来場者 500人 ・開催日 6月9日(木) ・内容 演劇「ヘレン ケラー」
良寛学習	・目的 良寛の遺徳と慈愛の精神を大切に思い、地域の誇りとして後世に語り継げることを目標に、良寛学習を実施 ・対象 出雲崎小、中学生 ・期間 小学1年生～中学3年生までの9年間 ・テーマ 小学生は「良寛さまはどんな人」 中学生は「良寛の心を知ろう」 ・中学3年生には、修了証(慈愛)の授与
第12回良寛さん心の書道 展	・目的 子どもたちに良寛さんのやさしい心を継承する ・対象 出雲崎小、中学生 ・期間 9月10日(土)～22日(祝) ・内容 応募総数266件の作品を中央公民館講堂に展示
東京藝大生招致事業	・目的 全国に町の魅力を発信し、更なる町の活性化を図る ・参加者数 藝大生15人 ・日程 8月18日(木)～21日(日) 3泊4日 ・学生は街並スケッチ画を制作し、完成した作品は町へ寄贈 ・完成した作品鑑賞会の実施 ・出雲崎小中学生を対象としたスケッチ画講習会の実施
生涯学習フェスティバル	・目的 町民の芸術、文化的な発表の場として開催する ・作品展示 11月2日(水)、3日(祝) 出展者 15団体+個人30人 ・ステージ発表 11月3日(祝) 出演団体 13団体 ・その他の催し物 11月3日(祝) ◎町民茶席(町婦人会) ◎防災コーナー、交通安全コーナー(総務課) ◎環境啓発コーナー(町民課) ◎健康づくりコーナー(保健福祉課) ◎廃棄図書の無償配布(図書館)

事業名	実施内容
良寛記念館関係	・ 8 月 1 日、国登録有形文化財に指定（展示棟、管理棟、回廊） ・ 地方創生推進交付金（中越地域広域連携事業） 良寛逸話 DVD の制作（5 ヶ年事業の 1 年目） ・ 図録の改訂 ・ 年 4 回の企画展開催 春の企画展「良寛の墨宝展」～清楚な書風を求めて～ ギャラリートーク 5 月 29 日（日）開催 夏の企画展「子どもたちの良寛展」～卒業論文と自由研究テーマを見つけよう～ ギャラリートーク 8 月 28 日（日）開催 秋の企画展「良寛の名品展」～館所蔵の名品から新発見まで～ ギャラリートーク 10 月 23 日（日）開催 冬の企画展「良寛の書簡展」 ギャラリートーク 1 月 29 日（日）開催
文化サークル活動助成	・ 5 サークル（スポーツダンス、陶芸、太極拳、大正琴、絵画）に助成
関係団体活動助成	・ 3 団体（奥の細道天の河俳句大会実行委員会、出雲崎妻入りの街並景観推進協議会、街並活性研究会）に助成

⑤学社連携事業

事業名	実施内容
学校・家庭・地域の連携促進事業 （学校支援地域本部）	・ 目的 小中学校と保護者、地域、行政が協働して、地域の子どもたちを育てていく ・ 地域コーディネーターや保護者からの情報収集を基に、地域の様々なボランティア指導者や団体と協力し活動を実施。 ・ 小学校では、俳句教室や良寛学習といった「地域学習」や野菜の苗植え、梅もぎ体験の「農業体験」などを実施。 ・ 中学校では、「福祉学習」として、地域にあるケアハウスの施設訪問や認知症サポーターの養成講座を実施。



文化芸術鑑賞会



生涯学習フェスティバル

⑥町活性化事業

事業名	実施内容
出雲崎ふるさと展 ～出雲崎町の宝もの～	・ 目 的 宝ものの事業により収集した資料及び町内ゆかりの作家の作品等を展示し、町の文化・歴史を町内外に発信する ・ 開催日 2月9日（木）～2月12日（日） ・ 会 場 中央公民館講堂 ・ 展示数 371 点 ・ 内 容 むかしの出雲崎～出雲崎の宝もの～ 民具、工芸品、写真、歴史資料、史跡・石仏・植物（パネル展示） 私のコレクション選 方言手ぬぐい等個人所有約 30 点 八手地区埋蔵文化財試掘調査速報展 写真パネルと木製品・土器展示 町内ゆかりの作家展 内藤鍾山、内藤方廬、八木芳林、旭達文、 竹之内春齊、権田雷斧 ・ 来場者数 294 人

⑦その他事業

事業名	実施内容
生涯学習 カレンダー作成	町、学校、社協などの実施事業を掲載したカレンダーを作成し、町の各世帯や事業所に配布する。（作成部数 1,850 部）
公民館だより発行	毎月 1 回（4 ページ）、公民館の活動内容などを紹介した「公民館だより」を発行し、町の全世帯に配布する。なお、仕分け作業等をふれあいサポートセンターに委託している。

⑧公民館利用者数

平成 27 年度		平成 28 年度	
海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
2,177 人	12,031 人	3,086 人	11,549 人

⑨良寛記念館入館者数

平成 27 年度		平成 28 年度	
入館者数	物品販売額	入館者数	物品販売額
11,331 人	3,088,142 円	10,512 人	3,622,240 円

2. 図書館事業

①図書館利用状況

表 1：分類別利用状況

	平成 27 年度		平成 28 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総 記	18 冊	3 冊	20 冊	7 冊
哲 学	41 冊	48 冊	77 冊	28 冊
歴 史	73 冊	20 冊	57 冊	39 冊
社会科学	94 冊	40 冊	98 冊	40 冊
自然科学	39 冊	27 冊	51 冊	27 冊
技 術	64 冊	60 冊	149 冊	64 冊
産 業	23 冊	22 冊	30 冊	10 冊
芸 術	131 冊	28 冊	154 冊	25 冊
言 語	13 冊	1 冊	16 冊	3 冊
文 学	1,832 冊	974 冊	1,895 冊	905 冊
雑 誌	115 冊	27 冊	151 冊	18 冊
計	2,443 冊	1,250 冊	2,698 冊	1,166 冊

表 2：図書貸出年齢別貸出人数

	平成 27 年度		平成 28 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
成人（23 歳以上）	1,039 人	608 人	940 人	484 人
学生・生徒 （13 歳～22 歳）	10 人	8 人	13 人	2 人
児童（12 歳以下）	104 人	16 人	84 人	9 人
合 計	1,153 人	632 人	1,037 人	495 人

表 3：年齢別図書館利用人数

	平成 27 年度		平成 28 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
成人（23 歳以上）	623 人	121 人	554 人	108 人
学生・生徒 （13 歳～22 歳）	40 人	18 人	45 人	21 人
児童（12 歳以下）	278 人	31 人	226 人	26 人
合 計	941 人	170 人	825 人	155 人

表 4：図書購入状況

	平成 27 年度		平成 28 年度	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総 記	4 冊	2 冊	3 冊	1 冊
哲 学	8 冊	12 冊	11 冊	6 冊
歴 史	37 冊	4 冊	17 冊	5 冊
社会科学	27 冊	14 冊	23 冊	7 冊
自然科学	13 冊	9 冊	23 冊	6 冊
技 術	20 冊	12 冊	16 冊	17 冊
産 業	1 冊	6 冊	4 冊	2 冊
芸 術	12 冊	10 冊	20 冊	6 冊
言 語	5 冊	1 冊	5 冊	1 冊
文 学	256 冊	196 冊	274 冊	195 冊
計	383 冊	266 冊	396 冊	246 冊
(雑誌種類)	6 種類	3 種類	6 種類	3 種類

②その他事業

事業名	実施内容
ブックスタート事業	1 歳 6 ヶ月になる幼児に絵本 2 冊を贈呈している。
親子文庫	小学校を通じて、小学 2～5 年生の家庭に対し、本のセット（児童とその保護者）を貸し出す。
除籍図書の無償配布	11 月 3 日の生涯学習フェスティバルにおいて除籍した図書を無償で配布。



3. 社会体育事業

①町内大会

大会名	実施日	備 考
第 36 回 町民ソフトボール大会	6 月 5 日 (日)	6 チーム 73 人
第 38 回 町民バレーボール大会	7 月 24 日 (日)	8 チーム 63 人
第 10 回 町民ウォーキング	10 月 2 日 (日)	82 人
第 35 回 町内ゲートボール大会	10 月 3 日 (月)	10 チーム 60 人
第 27 回 町民ソフトバレーボール大会	11 月 6 日 (日)	10 チーム 62 人
第 1 回 町民卓球大会	2 月 5 日 (日)	14 チーム 80 人
第 30 回 屋内ゲートボール大会	2 月 10 日 (金)	10 チーム 65 人
第 36 回 町民バドミントン大会	3 月 12 日 (日)	7 チーム 56 人



町民バレーボール大会



町民ウォーキング

②スポーツ教室等

大会名	実施日	備 考
わんぱく水泳教室	7 月 25 日～7 月 29 日	申込：30 人 延べ：157 人
柔道教室	通年 (火・金)	15 人
剣道教室	通年 (月・金)	11 人
柔剣道昇級審査会	12 月 4 日 (日)	26 人
さわやかスポーツ教室	通年 (火)	43 人 延べ：456 人
トレーニングルーム説明会	年 8 回	15 人

大会名	実施日	備 考
小学生スポーツチャレンジ教室	サッカー：5～10月 バレー：5～10月 卓球：10～12月 バスケ：10～12月	サッカー 申込：47人 延べ：589人 バレー 申込：12人 延べ：180人 卓球 申込：26人 延べ：180人 バスケ 申込：8人 延べ：54人
スキー&スノーボード教室	2月19日（日）	魚沼市須原スキー場 56人参加



スキー&スノーボード教室



サッカー教室

③体力づくり事業（実施場所：町民体育館2階トレーニング室）

事業名	実施日	備 考
トレーニング教室	第1期：5月～10月 第2期：10月～3月	申込：36人 延べ：426人 申込：38人 延べ：313人

④体育協会主催事業

事業名	実施日	備 考
柳津町・出雲崎町 中学生スポーツ交流大会	6月26日（日）	会場：出雲崎町 61人
柳津町・出雲崎町 親善スポーツ大会	9月22日（木・祝）	会場：柳津町 70人
第15回 出雲崎町近郷ゲートボール大会	3月3日（金）	16チーム 99人

⑤スポーツ推進委員関係

事業名	実施日	備 考
中越地区社会体育研究協議会	4 月 28 日 (木)	長岡市
北陸地区スポーツ推進委員研修会 兼新潟県スポーツ推進委員大会	6 月 25 日 (土) ～26 日 (日)	上越市
中越地区社会体育総合研修会	7 月 31 日 (日)	長岡市
二市三刈羽ブロック研修会	10 月 15 日 (土)	出雲崎町

⑥長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業

- ・スポーツ指導者派遣事業
出雲崎ッズの活動にコーディネーショントレーニングの講師を派遣。
「コーディネーショントレーニング教室」 2 月～3 月 (全 6 回)



柳津町・出雲崎町中学生スポーツ交流大会



二市三刈羽ブロック研修会

⑦体育施設利用状況

	平成 27 年度	平成 28 年度
町民体育館	42,011 人	36,812 人
(トレーニング室)	(8,235 人)	(8,619 人)
(ミーティング室)	(6,020 人)	(4,134 人)
町民野球場	4,431 人	4,759 人
テニスコート	644 人	334 人
プール	4,095 人	4,957 人
柔道場	698 人	1,318 人
屋内ゲートボール場	6,137 人	5,237 人

▶ 概 要

平成 28 年度は、青少年や一般成人等を対象とした各事業について、学習ニーズの高まりや多様化に対応できるように内容の一層の充実を図ってきた。

1. 未来を担う子ども達の人間力を高めるため、就学前幼児や小中学生を対象とした教室、保護者を対象とした家庭教育学級等の内容の充実を図った。
2. 町民のニーズに応じた幅広い講座や文化教室を推進し、内容の充実を図りながら、学習機会の促進を図った。
3. 家庭学習の指導にも発達段階に応じた指導を進めている。どの段階でどのような指導を行うことが必要なのか、学校、家庭と地域、教育委員会が連携を取りながら、家庭学習の充実・定着を図っている。

▶ 成果と課題

1. 文化教室の受講者は高齢者が主であり、定期的に出かける場となることで孤立化を防ぎ、仲間づくりにつながるので有効なものと考えている。一方、講師の高齢化や参加者が固定化により新規参加がしにくいことや、サークルへの自主的活動への移行など今後のあり方について検討が必要である。
2. 総合大学では人気があり、「講座終了後も設けてほしい」などのニーズがあるため、今後も多彩な講座やセミナーを計画し、身に着けた知識や技能を地域などで役立たせる人を増やす必要がある。
3. 図書館システムの更新期を迎えているが、読書離れの要因から利用実績は減少傾向にあり、引き続き利用率 UP の PR に努め図書館へ足を運びたいとなるような取組が必要となる。
4. 中公 3 階の郷土資料室ではボランティアによる資料整理により収納の効率を図り、イベントなどで積極的に展示するなど気軽に立ち寄れる公民館づくりを目指す。
5. ネット社会の進展により、子供たちのネットいじめ、ネット依存などメディアコントロール力を高めることが課題である。家庭内でのメディアやゲーム機の決め事を話し合っ子供たちの心や行動に影響しない取組を継続していかなければならない。
6. 現在のテニスコート敷地内に子育て支援センターの建設が決まったことにより、老朽化しているテニスコートを改修し、テニスとフットサルなど多目的に利用できるように人工芝での整備を検討していく。
7. 国の打ち出している総合戦略の中で、人口増加対策・交流人口を増やしていく政策を進めなければならない。町の重要な観光施設である良寛記念館は今年度「国登録有形文化財」に指定され、これを機に良寛記念館の再生をハード、ソフト両面から検討し、より充実した施設整備と PR 活動の計画を作成し、H29 年度からソフト事業を順次展開していく。
また「妻入りの街並み保存と妻入り会館、旧津又邸を活用した街並みへの人の呼び込みによる活性化」の検討を行っており、今後の事業展開が期待される。



V 学校・社会教育施設の整備充実

➤整備の状況	1 学校教育施設の主な整備状況 (1) 出雲崎小学校 ○校舎防火扉改修工事 ○小型除雪機購入 ○校舎棟空調設備実施設計委託 (2) 出雲崎中学校 ○校舎棟屋上防水工事 ○校舎・体育館外壁改修工事 2 社会教育施設の主な整備状況 ○妻入り会館外壁塗装工事 ○埋蔵文化財試掘調査委託 ○良寛アニメーション制作委託 3 社会体育施設の主な整備状況 ○町民体育館監視カメラ取替工事 ○町民体育館放送システム取替工事 ○町民野球場内野整備改修工事 ○町民プール等外壁改修工事 ○多目的運動場実施設計業務委託
---------------	--

➤概 要

当町では、学校教育施設や社会教育・社会体育施設等の整備は、計画的に進めてきており、それぞれの施設の大規模改修工事や機器の購入などの整備はおおむね完了した。また、本年度は安全上緊急を要する改修工事や機器の購入などの整備を行った。

➤成果と課題

学校施設は、小学校では2階から4階の防火扉を改修し、防火対策が強化された。また、夏場学習環境の改善を図るため空調（エアコン）設備の設計委託を行った。中学校では老朽化により、屋上防水工事と外壁改修工事を行い、施設の延命化が図られた。

社会教育施設では八手地区の囲場整備における埋蔵文化財の発掘調査が必要なため実施した。また、新たな良寛ファンの拡大のため親しみやすいタッチのアニメ動画を作成し誘客イベントなどで活用していく。

社会体育施設では町民体育館の監視カメラと放送システムの更新を行った。多目的運動場は子育て支援センターの建設やテニスコートの老朽化により改修するための設計委託を行った。

今後とも、厳しい財政状況の中ではあるが、老朽化する施設の維持管理については、年次計画を立てた中で、更新・改修・整備等を図り、長寿命化などに対応していかなければならない。

Ⅵ 学識経験者からの総合評価

元長岡市立北中学校長 山崎十五郎

益々、情報化・グローバル化が進展していく中で、人口減少という困難な課題を抱え、社会の変化は複雑で予測困難な状況となっている。「このような時代だからこそ、子どもたちは変化を前向きに受け止め、社会や人生を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしていくことが期待されている。」と、教育課程改善の方向性には示されている。

既に貴教育委員会においては、「第5次出雲崎町総合計画」において、「夢・感性あふれる教育と歴史文化香るまちづくり」を掲げ、迅速な機構改革と地域性を生かした特色ある教育実践がなされている。とりわけ、「後期基本計画」初年度を迎え、小中連携の下に発達段階に応じた「良寛学習」や「キャリア教育」は出雲崎の教育を象徴するものであり、全県的な評価を得たと言える。

教育委員会の活動状況については、首長との総合教育会議の開催や教育委員研修の充実を図るなど、教育長を軸にして組織の機能性発揮と教育活動の現状把握に努める態勢が取られている。

学校教育において、学力向上は21世紀の知識基盤社会において「生きる力」の土台となるものである。小学校では「主体的な学び」をめざして、指導法の研究がなされている。中学校でも「自ら学ぶ意欲」を育成するための手だてが講じられている。尚、評価基準の設定の仕方については、児童生徒の個人内評価を重視すると共に、評価項目間の共通性を図り全体的な傾向が把握しやすいように検討を加えていただきたい。その上で小さな変容を認めてやることが、子どもたちの自己肯定感、ひいては自己管理能力を高めることにつながると考える。

また、徳育についても十分配慮されている。小学1年から中学3年まで通した「良寛学習」は子どもたちの人間性の涵養に極めて貴重な取組である。「特別の教科道徳」の全面実施を間近に控え、キャリア教育と相まって1人1人の児童生徒が自らの価値観と真剣に向き合うとき、他者に対する思いやりの気持ちも醸成されると考えるからである。「新潟県中学校研究会」の指定を受けての授業公開は多くの注目を集めることと思う。

特別支援教育への期待の高まりに対しても、介助員の配置や特別支援学級の増設等現状に即した審議・対応がなされている。今後は障害のある児童生徒とない児童生徒が可能な限り活動を共にするインクルーシブ教育システムの構築が一層求められていく。

社会教育事業においては、就学前教育に始まり、青少年教育・生涯学習講座に至るまで、充実した内容になっており、学校教育を支える基盤となっている。改めて、ソーシャル・キャピタル（人々の信頼・協力関係を資本と見なす）の重要性が想起される。学校と地域が相互補完的な支援関係を構築し、人間関係を広げる機会を生み出している。今年度の「全国学力学習状況調査」の結果を見ると、「地域や社会をよくすることについて、考えることがありますか？」という問いに、出雲崎の小・中学生の肯定的答えが全国平均を大きく上回っている。教育委員会のイニシアティブに敬意を表するものである。

Ⅶ そ の 他

○指導いただいた学識経験者名 (敬称略)

職 名	氏 名	備 考
元長岡市立北中学校長	山崎 十五郎	柏崎市在住 (旧西山町)

○町教育委員会関係者名簿

—教育委員—

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	備 考
教育長	佐藤 亨	
委員	村越 隆夫	教育長職務代理者
委員	木川 勇三	
委員	内山 才子	
委員	棚橋 正吾	

—職員名簿—

職 名	氏 名	備 考
教育課長	矢島 則幸	
管理指導主事	高畑 秀紀	
教育課参事	金泉 嘉昭	
教育課課長補佐	権頭 昇	
教育課係長	渡辺 一敏	
教育課主任	中川 祐哉	
教育課主事	小林 ひろ子	
教育課主事	片桐 尚亮	
教育課主事	佐藤 真吾	
事務職員	竹村 しのぶ	
事務職員	小川 真紀子	
用 務 員	小林 秋子	
清 掃 員	柴田 圭一	
良寛記念館 館長	本間 勲	
同 館長代理	永寶 卓	学芸員
同 事務職員	小黒 晴美	
同 事務職員	大久保 淳子	